



やまふじ  
**山藤 陽子**  
(公明会)



## 市民の健康促進のための施策（健康教育の推進、健康遊具の設置等）について

**問** フレイル予防講座の高齢者への効果は。

**部長** 体力測定やアンケートから、体力や筋力アップ、バランス能力の向上、痛みの改善、人と会うのが楽しくなる、自分の体に自信がついた、食事のバランスを考えるようになった等、介護予防につながる声が多く聞かれている。

**問** 健康寿命を延ばせているのか。

**部長** 本事業がすべての要因ではないが、令和元年度と令和5年度を比較すると男性が79.3歳から80.3歳に。女性は83.9歳から84.8歳と男女とも延びている。

**問** 今後、各公園に健康遊具を設置する予定はあるのか。

**部長** 現在市内の公園やスポーツ広場の7か所

に健康遊具が設置してある。遊具を安全に設置できる場所が必要。設置する機会があれば積極的に導入している。

**市長** 市内全域を一遍再調査して、積極的に健康遊具をお年寄りのために設置するように重点目標としてやっていきたい。

## 小中学校の防災教育（命を守るため）の取組について

**問** こどもたちの防災教育で、ぼうさい甲子園、ぼうさい探検隊、防災教育チャレンジプランに取り組むことができるか。

**部長** これら3つの事業は防災意識の啓発や知識の醸成に資することが期待でき、当市のこどもたちも応募できる事業であることから、こどもたちに届くように周知していく。

**問** こどもたちが自分の命を守るため、自分で生きるために考える力を持つためには。

**教育長** 自然災害について正しい知識とそれに基づき行動することが必要。教育活動全般を通して育てていきたいと思う。



さの としお  
**佐野 寿夫**  
(公明会)



## 西富士用水簡易水道等について

**問** 経緯経過について。

**部長** 昭和20年代に農林省により整備され、給水施設は農林省から富士宮市に移管された。当時、富士宮市助役を委員長とし、富士開拓農業協同組合を中心とした富士宮市西富士用水管理委員会が維持管理、運営を行ってきた。

**問** 運営状況について。

**部長** 使用量が30年間で約18%減少。今後耐震管への切りかえ等、厳しい状況が予想される。料金改定を行うなどの対策を講じながら、安定した運営に努めていくと伺っている。

**問** 西富士用水簡易水道を上水道と統合しようとした場合の課題について。

**部長** 国・県等との協議を行い、加えて老朽化施設の更新方法や使用料金等の金額差の問題な

ど、関係部署と検討が必要になる。

## 生ごみ処理機「だっくす食ん太くんNEO」の検証と当市のごみ減量について

**問** なぜ継続運用が困難になったのか。

**部長** 売上が伸び悩んだこと。土壌改良剤が1、2年ほどの使用期限であり、入替れの必要があるなどの問題が生じ販売終了に至った。

**問** 生ごみの水切りを推奨しているが、その評価と搬入量の現状は。

**部長** 生ごみの割合は年度により増減がある状況。市としては、平成28年度から行っているごみダイエットプロジェクトで、生ごみの水切りや食品ロス削減を広報紙やSNS等を使い呼びかけており、引き続き生ごみの減少などについて呼びかけを行っていきたいと考える。

## 外神東公園のつどいの広場東側のトイレを改修することについて

**問** トイレを改修することについて。

**市長** 誰もが使いやすいようなトイレに、建て替える方向でしっかりと直していく。